

政策 04 安全で安心なまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
災害に強いまち、減災できる人・地域になっています。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	市の災害対策・防災体制に安心感を持つ市民の割合 (%) 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		66.5	66.5	66.9	70	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.4ポイント増加した。これは、防災講習会等のイベントを通じて、市の災害対策・防災体制について知ってもらう機会が増加したことが要因と考えられる。					☀ (向上)
						☀ (向上)
目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (高)						

指標	市民レベルでの防災・減災体制ができていると思う市民の割合 (%) 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		36.3	36.3	36.8	55	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.5ポイント増加した。これは、自然災害の増加により市民の関心が高まる中、出前講座等の実施によって、災害に対する備えの重要性の認識が高まったことが要因と考えられる。					☀ (向上)
						☀ (向上)
目 標 達 成 度 ■ ■ ■ (中)						

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災・減災意識の高揚

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	各公民館及び小中学校（体育館）が避難所であることを知っている市民の割合（％） 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		69.6	69.6	71.7	80	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2.1ポイント増加した。これは、自然災害の増加により市民の関心が高まる中、広報やホームページ等により、避難所の場所について周知できたことが要因と思われる。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)
<p>目 標 達 成 度</p> <p>☐☐☐ (高)</p>						

基本事業01 防災・減災意識の高揚

指標	家庭での防災・減災対策の平均実践項目数(全14項目中)（項目） 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		4.6	4.6	4.9	7	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.3ポイント増加した。これは、自然災害の増加により市民の関心が高まる中、出前講座等を通じて、家庭での防災減災対策の重要性について周知できたことが要因と考えられる。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)
<p>目 標 達 成 度</p> <p>☐☐ (中)</p>						

基本事業02 災害情報システムの充実


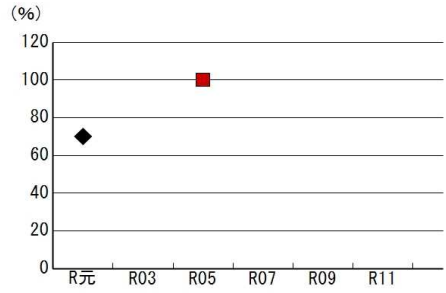


指標	災害情報メール配信サービス加入者数（人） 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		8,829	8,829	9,135	10,000	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が306人増加した。これは、自然災害の増加により市民の関心が高まる中、メールサービスへの加入促進について積極的に行ったことが要因と考えられる。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)
<p>目 標 達 成 度</p> <p>☐☐☐ (高)</p>						

基本事業03 避難生活の支援


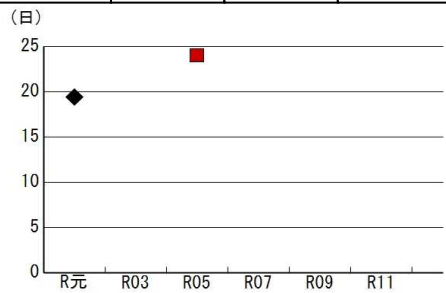


指標	避難想定住民（8,262名）への1人あたりの食数（食） 【災害対策室】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		8.3	8.3	8.9	9	☀️ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が0.6ポイント増加した。これは、備蓄計画に基づき計画的に進めているためである。対基準値は、基準値取得時の平成24年度から避難想定住民数が変わっているため、比較不可としている。					☀️ (向上)
						☀️ (向上)
<p>目 標 達 成 度</p> <p>☐☐☐ (高)</p>						

基本事業03 避難生活の支援


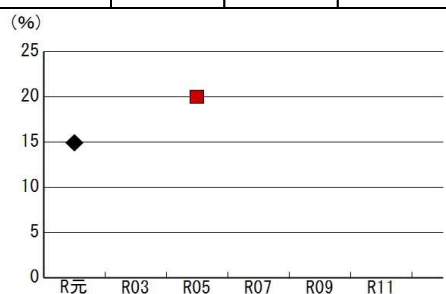


グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	避難所の充足率（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【災害対策室】	70.1	70.1	70.1	100	 (横ばい)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値は同じである。これは、昨年と同じく想定される避難者に比べ、避難所となる体育館の収容人数が少ないことによる。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (高)


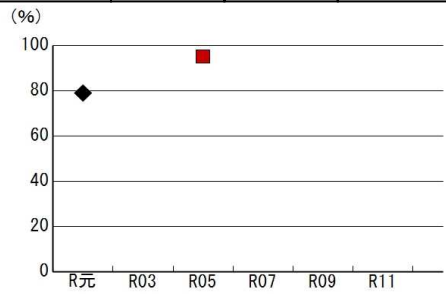


基本事業04 防災体制の充実

指標	自主防災組織が実施した防災活動日数の平均数（日）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【災害対策室】	17	17	19.4	24	 (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2.4ポイント増加した。これは、連絡会で活動の内容充実を依頼したこと、活動数を精査したことが要因であると考えられる。					対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (高)

基本事業04 防災体制の充実

指標	市や地域の防災訓練に参加している市民の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【災害対策室】	12.3	12.3	14.9	20	 (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2.6ポイント増加した。これは、市総合防災訓練の実施日を8月から気候的に参加しやすい10月に変更したことが要因と考えられる。					対 前年度
						 (向上)
						目 標 達成度
						 (高)

基本事業04 防災体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動ができる職員の割合（％）	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
	【災害対策室】	81.3	81.3	78.9	95	 (低下)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が2.4ポイント減少した。これは、職員研修等により災害時の役割を周知してきたが、認識が深まっていないことが要因と考えられる。					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達成度
						 (中)

基本事業04 防災体制の充実

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	防災協定の締結数（件） 【災害対策室】	基準値 (H30)	実績値 (H30)	実績値 (R元)	目標値 (R05)	対 基準値
		69	69	74	71	☀ (向上)
評価	前年度の実績値に比べ、現状値が5ポイント増加した。これは昨年までの協定数を精査したことと、災害時の食事の提供に関する協定を新たに締結したことが要因である。	(件) 				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)